

[Windows 10 へアップグレード後の注意点]

2016年7月23日 河出 修

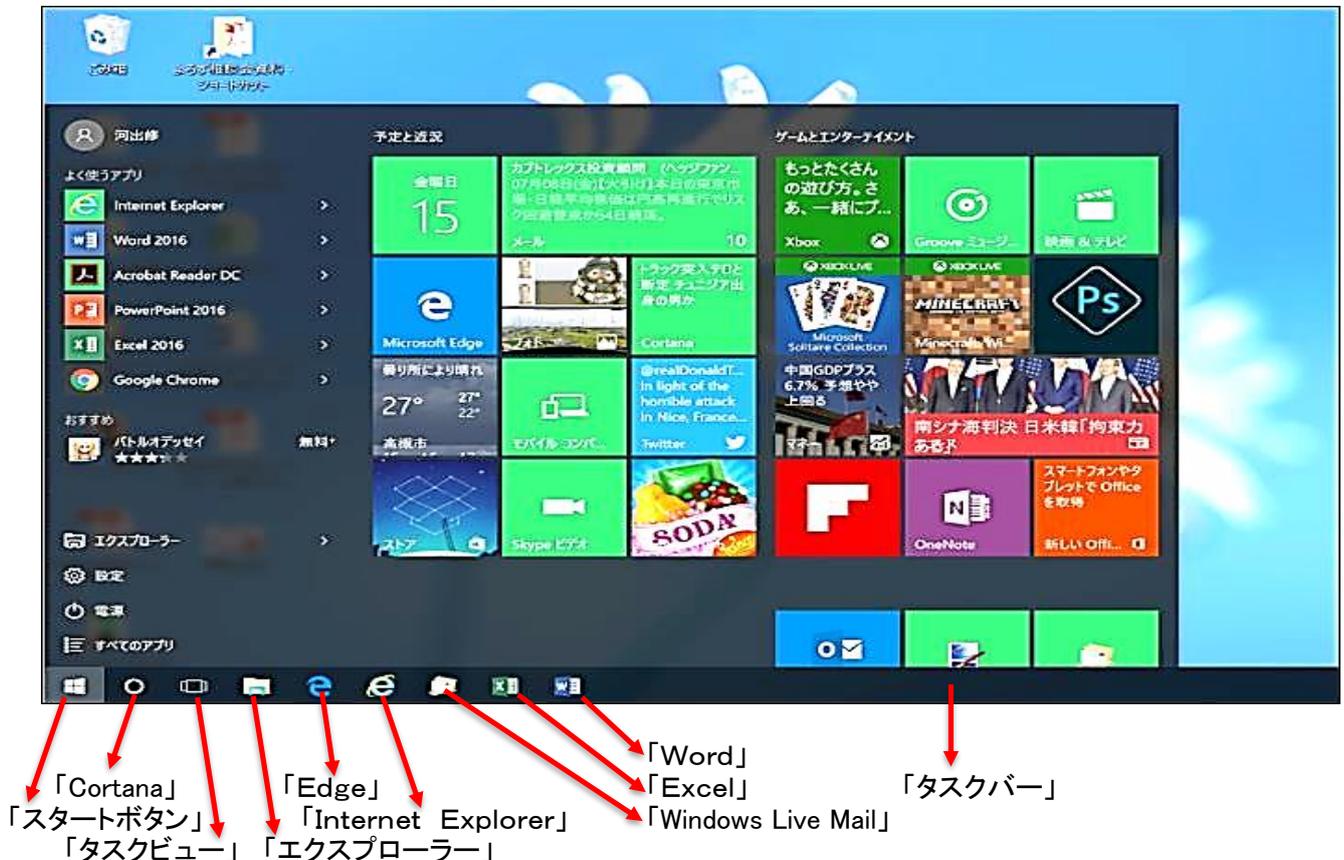
I. Windows 10 へのアップグレード

1. 「Windows 10」は 2015年7月29日に「Microsoft」社から、無償提供が開始された。

- 対象機種 : 「Windows 7 Service Pack1」、「Windows 8.1 Update」
- 無償アップグレード期間は 2016年7月29日 まで。

2. Windows 10 初期画面

- 「デスクトップ画面」 → 「スタートボタン」を押した状態の画面



3. 「タスクバー」の説明

- 「スタートボタン」: Windows 7 と Windows 8 のスタート画面を合体させたような画面が表示される。(使いやすいようにカスタマイズする必要がある。)
- 「Cortana」: Windows 10 から導入された、音声認識機能付きのアシスタント機能のこと。最新情報の表示、ファイルの検索、音声認識を使った雑談なども行える。
- 「タスクビュー」: 現在起動しているプログラムを一覧画面で表示する。
- 「エクスプローラー」: Windows上のファイルをわかりやすく管理するためのプログラム。コンピューターに接続されたドライブ、フォルダー、ファイルを階層構造で表示できる。
- 「Microsoft Edge」: Windows 10 用に開発された、新ブラウザソフト。「Microsoft Edge」画面に文字や画像を描き込むことができる。
- 「Internet Explorer」: 従来の「Internet Explorer」も使える。「Cortana」欄に「IE」と入力すると、「Internet Explorer」が表示される。それをクリックすると「IE」が起動できる。(その後、タスクバーにピン止めしておく。)
- 「タスクバー」や「デスクトップ画面」によく使う「ショートカット」を登録しておく、Windows 10 に移行後も従来通りの操作ができる。

4. 「Windows 10」を使った感想

- プログラムの起動、終了が速くなり、処理速度も速くなったように思う。
- 基本フォントが「游ゴシック」に変更され、少し小さくなった気がする。
- 保存したデータは、そのまま使えるので便利。

Ⅱ. Windows 10 へアップグレード後の注意点

1. 「Windows 10」では「既定の Webブラウザ」が「Microsoft Edge」になっている。

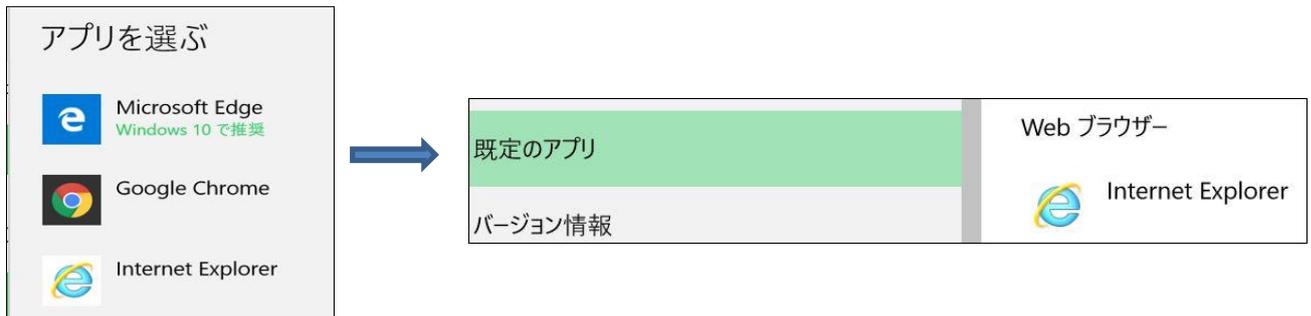
●「Microsoft Edge」はWindows 10 用の新ブラウザソフトであるが、互換性に問題があるため使い慣れた「Internet Explorer」を「既定の Web ブラウザー」にしておく方が安心です。

●「既定の Web ブラウザー」の変更は下記のとおりです。

(1)「スタートボタン」→「設定」→「システム」→「既定のアプリ」の中から「Web ブラウザー」の「Microsoft Edge」を選択。



(2)「アプリを選ぶ」画面が表示される。その画面から「Internet Explorer」を選ぶ。



●以上で既定のブラウザの変更が完了。

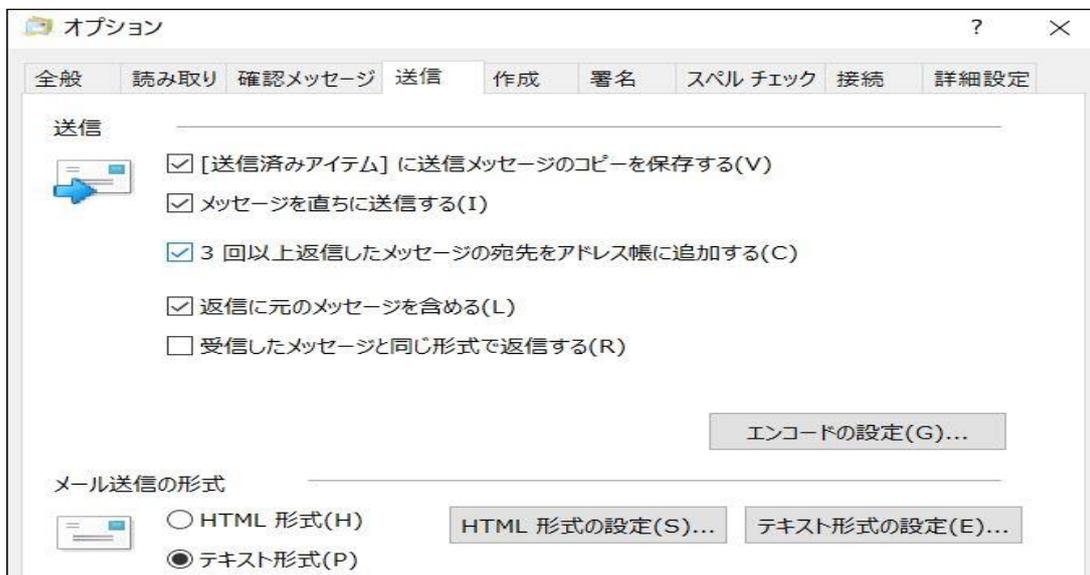
2. 「電子メール」の設定を再確認した方が良い。

●「Windows Live Mail」の確認方法は下記のとおりです。

(1)「Windows Live Mail」を起動し、「ファイル」→「オプション」→「メール」を選択。

(2)「送信」タブを開き、「メール送信の形式」の「テキスト形式」にチェックする。

(3) 下段の「OK」ボタンを押して完了。



●「アカウント設定、アドレス帳、送受信データ」は、事前にバックアップを取っておくと安心。

3. 「無線LAN」は再接続が必要。

- 「無線LANルーターの」の再接続方法は下記のとおりです。
 - (1)「タスクバー」にある  アイコンをクリックし、「無線LAN」一覧表を表示する。
 - (2)「無線LAN」一覧表から該当する機種番号(SSID)を選択する。
 - (3)「ネットワークセキュリティキー」(パスワード)を入力する。
 - (4)「次へ」ボタンを押す。→ 接続がOKになれば完了。



- 機種番号(SSID)と「ネットワークセキュリティコード」(パスワード)は必ず記録しておくこと。
- 上記は無線LANルーターに表示されている場合が多い。
- 無線LAN接続のプリンターの場合も、再接続が必要です。再接続の方法はプリンターの機種によって変わります。

4. 「通常使うプリンターの確認」とテストプリント

- 「通常使うプリンターの確認」方法は下記のとおりです。
 - (1)「スタートボタン」上で右クリック→「コントロールパネル」→「デバイスとプリンター」を選択。
 - (2)「プリンター」欄でよく使うプリンターに緑色チェックマークが入っているか確認する。



- 「プリンタードライバー」の更新があれば実行する。
- 念のためにテストプリントをして、確認しておく。

5. 「外付け機器の動作確認」

- 「外付けディスク」、「単体のスキャナー」等は正常に動作するか確認する。
- 正常に動作しない場合は、「Windows 10」用ドライバーに更新する。

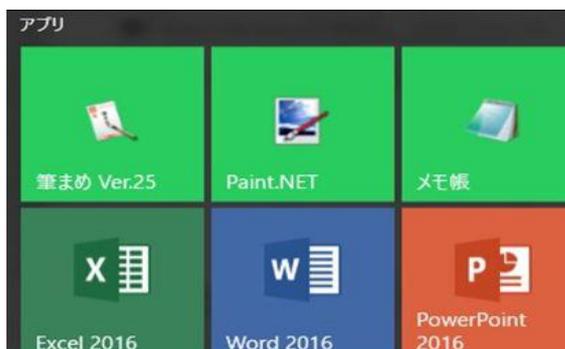
6. 「タスクバー」のカスタマイズ。

- 「WebとWindowsを検索」を右クリックし、「Cortana」→「Cortana アイコンを表示」で「Cortana」に変更できる。タスクバーのエリアが節約できる。



- 「Cortana」の検索欄に「IE」と入力すると、「Internet Explorer」が表示される。それをクリックすると「IE」が起動できる。(その後、タスクバーにピン止めしておく。)

7. 「スタートメニュー」のカスタマイズ。



- 「アプリ」のタイルは自由に動かせる。
- よく使う「アプリ」は見やすいところに集めておくが便利。

8. 「Windows 10 の使い方」解説サイトの紹介。

- 「Windows10」の新機能や使い方、基本操作やトラブルの対処法まで、画像付きで解説されています。
- 下記サイトをご参照願います。(お気に入りに登録を)

<http://www.tipsfound.com/windows10/08003>